

## 第3期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する意見募集の結果について

### 1 パブリック・コメントの概況

#### (1) 意見募集期間

令和7年2月17日（月）～令和7年3月19日（水） 31日間

#### (2) 意見提出者等

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	団体	計
					1		

#### (3) 提出方法の内訳

郵送	ファックス	Eメール	その他	計
		1		

## 2 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>まち・ひと・しごと創生座談会の開催を知らず新聞報道もなかった。役所と市民が協働で戦略案を作成するべきであると考え。協働による自治の具体的事例を増やしてほしい。</p>	<p>第3期総合戦略案の作成にあたっては、産業関係団体、学識経験者、金融機関、労働関係団体、報道関係者、市民から委員を委嘱して組織される「佐野市まち・ひと・しごと創生懇談会」を開催し意見交換をさせていただきました。この懇談会は公開の場で開催することとされており、市ホームページにおいて告知を行い開催いたしました。</p> <p>今後は、より広く意見を伺い、多くの方の方が主体的に関わることでできる方法を検討してまいります。</p>
	<p>基本目標4「魅力的な地域をつくり、安心な暮らしを守る」に関わるコンパクトプラスネットワーク(いもフライ型都市構造)推進は大変抽象的で、街なかに住む市民の課題解決には、ほど遠いように思う。県道拡幅事業が開始されることをふまえ、まちなか活性化プランの作成が必要と考える。まちなか活性化の課題解決のため以下の具体的施策を進める必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 足銀跡地の具体的な活用計画の立案・実現</li> <li>2. さのまちづくり会社の強化策を具体化</li> <li>3. 県道拡幅をふまえたまちなか活性化プランの早期作成</li> </ol>	<p>コンパクト・プラス・ネットワーク(いもフライ型都市構造)の推進は、人口減少、少子高齢化によって生活に必要なサービスの維持が困難になり、バス路線の廃止や店舗の閉店など地域の機能が失われてしまうという課題に対応するため、市全域を対象に、医療・福祉、子育て支援、商業等の都市機能や住居等がまとまって立地(コンパクト化)した拠点を形成し、多世代が公共交通により拠点間を移動できる(ネットワーク化)交通体系を構築することにより、便利で暮らしやすいまちづくりを進めるものです。</p> <p>また、旧足銀跡地の活用方針の決定やさのまちづくり株式会社との連携など、まちなか活性化の具体的な取組については、第2次佐野市中心市街地活性化基本計画に基づき、各種事業を展開しております。</p> <p>いただいたご意見はまちなか活性化の担当部署とも共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>